

平成25年度 全国学力・学習状況調査等を活用した学力向上に向けた事例

事務所名 沿岸南部教育事務所 学校名 釜石市立唐丹中学校 TEL 0193-55-2106

Aタイプ授業(知識・理解、技能、基礎基本)・Bタイプ授業(見方・考え方、活用)の使い分けによる指導の提案

1 ねらい

全国学調の結果を受けて、管内の高成果校を訪問しその傾向を調査した。その結果、成果を上げた学校の傾向として、「教科書中心、速いテンポの例題説明型の授業」であることが分かった。このことから、授業を2つのタイプに分け、使い分けの指導を行うことを提案する。

【Aタイプ授業】 速いテンポの例題説明型の授業、単位時間内に定着問題を意識的に多く与える。分からない生徒は徹底して個別指導。

【Bタイプ授業】 自力解決・集団解決の時間を十分に確保し、分からない生徒も集団解決に位置付けながら全員で課題を解決する授業。

Aタイプ授業の事例として大船渡市立日頃市中学校、Bタイプ授業の事例として釜石市立唐丹中学校の実践を紹介する。

2 具体的な実践 **Bタイプ授業** 【第1学年「反比例」】

問題提示：面積が 18cm^2 の長方形を作ります。横の長さを変えると、縦の長さはどのように変わりますか。

T：横の長さが決まると、それにもなって縦の長さも決まります。

T：横の長さが1cmならば、縦の長さは何cmですか。

C：18cmです。

課題提示：横と縦の長さの関係を考えよう。

T：どんな方法で調べますか。

C：表、図、式、言葉です。

自力解決（15分）：机間指導をするが教師は教え込まない。必要以上の支援を行わない。

T：それでは〇〇さんから発表（説明）してください。

C：横1cmのとき縦18cm、横2cmのとき縦9cm・・・。（表を使って説明）

途中までは比例しているが、ここからは比例していません。質問ありませんか。

横	1	2	3	4
縦	18	9	6	1.5

C：横が4のときの縦の長さはどうやって求めましたか。

C：18を4で割りました。

C：あっ、4.5でした。

C：どうして比例ですか。xが2倍になると、yも・・・。

C：あっ、反比例でした。

T：次に〇〇さんお願いします。

C：私は表を書いて調べました。この表からxの値が2倍、3倍・・・してもyの値は2倍、3倍・・・していないので比例していません。式は分かりませんでした。質問ありませんか。

T：次に〇〇さんお願いします。

C：私も表を書いて調べました。（中略）これは比例ではありません。反比例です。

yは $18 \div x$ にして求めることができるので、式は $y = 18 / x$ です。質問ありませんか。

x	0	1	2	3	4	5
y	0	18	9	6	4.5	3.6

T：表でおかしいところはありませんか。

T：x=0の時のyの値はどうして0ですか。みなさんどうですか。

C：x=0の時のyの値は0ではないと思います。

T：x=0の時のyの値は0ではありませんね。x=0の時のyの値は考えません。

T：次に〇〇さんお願いします。

C：私は・・・最後につけたしです。表を斜めに見て6を2で割った答えと9を3で割った答えは同じになります。表のどこでも同じになります。

x	0	1	2	3	4	5
y	×	18	9	6	4.5	3.6

T：〇〇さん、良く気がつきましたね。

C：お～。



3 成果

- ・自分の考えを話し交流することで、学習事項の定着が図られたり、考えを確かめたり、共有することができた。
- ・考える時間を十分に確保することで、考えが整理され、深まり、発表の意欲につながった。

<担当指導主事から>

【沿岸南部教育事務所 主任指導主事 伊東孝志】

- ・自力解決で分からなかった生徒・間違った生徒の考えを授業へ位置付けることで学級みんなで学習課題を解決する授業づくりをねらったものである。
- ・教師は自力解決で教え込まない。正解に導きすぎないことが大切である。
- ・分からない・間違った考えを受け入れ生徒の思考を促す教師の姿勢と学級づくり、人づくりが求められる。